

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 20 年 9 月 4 日 (2008.9.4)

【公開番号】特開 2006-28180 (P2006-28180A)
 【公開日】平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-005
 【出願番号】特願 2005-206685 (P2005-206685)
 【国際特許分類】

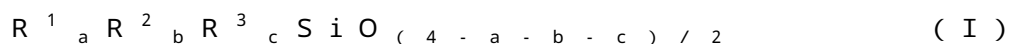
A 6 1 K 8/00 (2006.01)
 A 6 1 Q 1/06 (2006.01)
 A 6 1 K 8/55 (2006.01)
 A 6 1 K 8/58 (2006.01)
 A 6 1 Q 1/00 (2006.01)
 A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/027
 A 6 1 K 7/00 E
 A 6 1 K 7/02 Z
 A 6 1 K 7/48

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 7 月 17 日 (2008.7.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

生理学的に許容される媒体中に、少なくとも 1 の着色剤、ならびに組成物の合計重量に対して 5 ~ 90 重量 % の、4 0 未満の炭素原子を含む少なくとも 1 の炭化水素エステル、及び組成物の合計重量に対して 5 ~ 20 重量 % の、一般式 (I) の少なくとも 1 のシリコンポリマーを含むことを特徴とする無水化粧品組成物、



ここで、

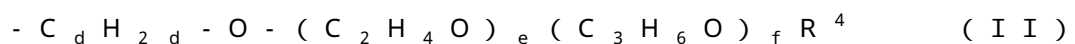
a、b および c は、a が 1 ~ 2.5 であり、そして b および c が互いに独立に 0.001 ~ 1.5 であるようなものであり、

R¹ は、各出現において同一でも異なってもよく、以下の基：

必要に応じて 1 以上のフッ素原子、アミノ基および / またはカルボキシル基で置換されていてもよい C₁ ~ C₃₀ アルキル基；

アリール、及びアラルキル基；

一般式 (I I) の基：



(ここで、R⁴ は C₁ ~ C₃₀ 炭化水素基、または R⁵ - (CO) - であり、ここで R⁵

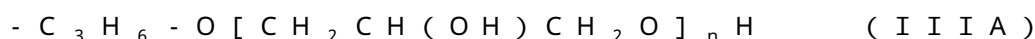
は $C_1 \sim C_{30}$ 炭化水素基であり、そして、
 d 、 e および f は、 d が $0 \sim 15$ であり、そして e および f が互いに独立に $0 \sim 50$ であるような整数である)；および

これらの組み合わせ、
 から選ばれ、
 R^2 は一般式 (III)：



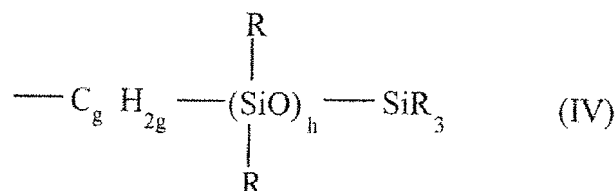
(ここで、 Q は、少なくとも 1 のエーテル結合および / または少なくとも 1 のエステル結合を含むことができる、2 価の $C_2 \sim C_{20}$ 炭化水素基であり、そして、
 X は グリセリル誘導体から選択されたポリヒドロキシ炭化水素基である)

により表される基であり、
 ただし R^2 が一般式 (IIIA)：



(ここで、 n は $1 \sim 5$ である整数である)
 の基であるときには、 R^1 は C_{12} アルキル基以外である、

R^3 は一般式 (IV)：



(ここで、
 R 基の夫々は互いに独立に、必要に応じて 1 以上のフッ素原子で置換されていてもよい $C_1 \sim C_{30}$ アルキル基；およびアリール基およびアラルキル基から選ばれた基を表し、
 g および h は、 g が $1 \sim 5$ であり、そして h が $0 \sim 500$ であるような整数であり、上記ポリマーは、他の物質と一緒にされ、またはその上に吸着された形態で使用されるのではない)

の有機シロキサン基である。

【請求項 2】

8 ～ 16 の炭素原子を有する炭化水素油、特に $C_8 \sim C_{16}$ の分岐状アルカン例えばイソドデカン、イソデカン、及びイソヘキサデカン、

直鎖又は環状シリコン油、特に 8 センチストークス ($8 \times 10^{-6} m^2 / 秒$) 以下の粘度を持つもの、特にオクタメチルシクロテトラシロキサン、デカメチルシクロペンタシロキサン、ドデカメチルシクロヘキサシロキサン、ヘプタメチルヘキサトリシロキサン、ヘプタメチルオクタトリシロキサン、ヘキサメチルジシロキサン、オクタメチルトリシロキサン、デカメチルテトラシロキサン、及びドデカメチルペンタシロキサン、及び
フッ素化された溶媒、例えばノナフルオロメトキシブタン又はパーフルオロメチルシクロペンタン、及び

それらの混合物

から選択された 少なくとも 1 の揮発性油をさらに含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

上記揮発性油が組成物の合計重量に対して 15 重量%未満で存在することを特徴とする、

請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

40未満の炭素原子を含む少なくとも2のエステルを含むことを特徴とする、請求項1～3のいずれか1項に記載の組成物。

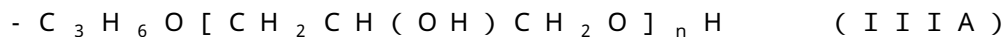
【請求項5】

シリコーンポリマーが、

aは、1～1.4の範囲であり、そしてbおよびcが互いに独立に0.02～0.04の範囲であり、

R¹は、C₁～C₁₀、特にC₁～C₆アルキル基、より特にC₁～C₄アルキル基であり、

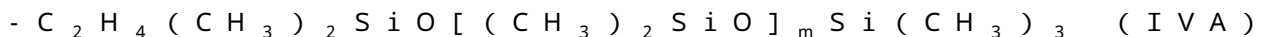
R²は、一般式(IIIA)：



(ここで、nは1～5である整数である)

により表され、

R³は一般式(IVA)：



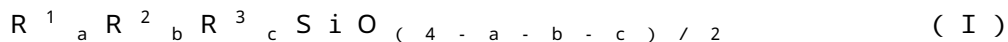
(ここでmは3～9である)

により表される、

一般式(I)の化合物であることを特徴とする、請求項1～2のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項6】

シリコーンポリマーが、一般式(I)の化合物であることを特徴とする、請求項5に記載の組成物、



ここで、

aは、1～1.4の範囲であり、そしてbおよびcが互いに独立に0.02～0.04の範囲であり、

R¹は、メチル基であり、

R²は、nが1～5の範囲である一般式(IIIA)により表され、

R³は、mが3～9の範囲である一般式(IVA)により表される。

【請求項7】

上記炭化水素エステルが、式RCOOR'に相当するモノエステルであり、ここでRCOOは、2～28の炭素原子を含む脂肪酸残基を表し、R'は、1～28の炭素原子を含む炭化水素鎖を表し、ただし上記モノエステルは少なくとも10の炭素原子を含むことを特徴とする、請求項1、2又は5のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項8】

上記炭化水素エステルが、合成エステル、特に脂肪酸エステル、例えばブルセリン油、イソプロピルミリステート、エチルパルミテート、及びオクチルステアレート；ヒドロキシ化エステル、例えばイソステアリルラクテート、オクチルヒドロキシステアレート、ジイソプロピルアジペート、脂肪族アルコールヘプタノエート、オクタノエート、及びデカノエート、ネオペンタン酸のエステル、例えばイソデシルネオペンタノエート、イソトリデシルネオペンタノエート、イソステアリルネオペンタノエート、オクチルドデシルネオペンタノエート、イソノナン酸のエステル、例えばイソノニルイソノナノエート、オクチルイソノナノエート、イソデシルイソノナノエート、イソトリデシルイソノナノエート、

及びイソステアリルイソノナノエート、イソプロピルアルコールのエステル、例えばイソプロピルミリステート、イソプロピルパルミテート、イソプロピルステアレート若しくはイソステアレート、セチルオクタノエート、トリデシルオクタノエート、2 - エチルヘキシル4 - ジヘプタノエート及びパルミテート、アルキルベンゾエート、ポリエチレングリコールジヘプタノエート、プロピレングリコールジ - 2 - エチルヘキサノエート、及びそれらの混合物から選択されることを特徴とする、請求項 1、2又は5のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

上記組成物が、シリコーン油、シリコーンガム、シリコーン樹脂、及びシリコーンエラストマーから選択される少なくとも 1 のシリコーン化合物をさらに含むことを特徴とする、請求項 1、2又は5のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 10】

水素化ポリイソブテン、ジペンタエリスリトールテトラヒドロキシステアレート/テトライソステアレート、2 - オクチルドデカノール、ジイソステアリルマレート、及びそれらの混合物から選択された少なくとも 1 の非揮発性の油をさらに含むことを特徴とする、請求項 1、2又は5のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 11】

組成物が、リップスティックであることを特徴とする、請求項 1、2又は5のいずれか 1 項に記載の組成物。